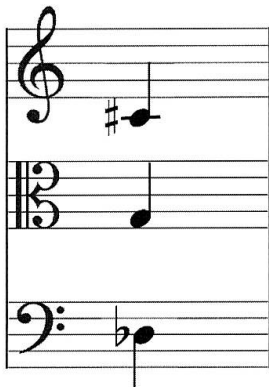


高等学校芸術科（音楽）採点基準

4枚のうち1

【注意】問題によっては、部分点を可とする。

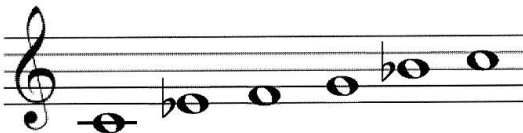
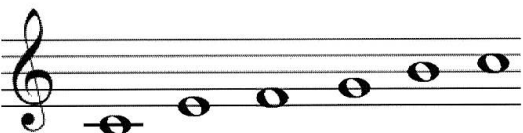
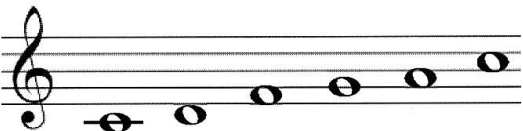
【注意】問題によっては、部分点を与える。

問題番号			正 答 〔例〕		採 点 上 の 注 意	配 点
1	1	(1)	作品名	オペラ座の怪人	内容を正しく捉えてい れば、表現は異なってい てもよい。	各 3 × 6
			作曲者名	ロイド・ウェバー		
		(2)	作品名	レ・ミゼラブル		
			作曲者名	クロード＝ミシェル・シェーンベルク		
		(3)	作品名	ウェスト・サイド物語		
			作曲者名	レナード・バーンスタイン		
	2	(1)	悲しく		内容を正しく捉えてい れば、表現は異なってい てもよい。	各 2 × 6
		(2)	きっぱりと			
		(3)	任意に			
		(4)	ジョコーソ			
		(5)	だんだんせきこんで			
		(6)	デリチオーソ			
	3	(1)	(エ)			各 3 × 3
		(2)	(ア)			
		(3)	(イ)			
		(4)				各 3 × 2

高等学校芸術科（音楽）採点基準

4枚のうち2

【注意】問題によっては、部分点を可とする。

問題番号			正 答 〔例〕	採 点 上 の 注 意	配 点	
1	4	(1)	(ケ)		各 2 × 8	
		(2)	(オ)			
		(3)	(イ)			
		(4)	(キ)			
		(5)	(コ)			
		(6)	(シ)			
		(7)	(ウ)			
		(8)	(サ)			
	5	(1)			各 5 × 4	
		(2)				
		(3)				
		(4)				
	6	※ 別紙（計1枚）		問いを正しく捉えてい れば、内容は異なってい てよい。	40	

高等学校芸術科（音楽）採点基準

4枚のうち3

【注意】問題によっては、部分点を可とする。

問題番号	正 答 〔例〕	採 点 上 の 注 意	配 点	
2	題材名（「パッヘルベルのカノン」の旋律とテクスチャの特徴を生かして、リコーダー・アンサンブルで演奏しよう）	題材名及び学習活動は、問いを正しく捉えていれば、内容は異なっていてよい。	50	
	時間 学習活動			
	1			○「パッヘルベルのカノン」の旋律とテクスチャを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じ取る。 ・「グリーンズリーヴス」を演奏して聴き取ったことや感じ取ったことを全体で共有し、旋律やテクスチャの特徴が異なることを確認する。 ・旋律やテクスチャの特徴に気を付けて、再度、「グリーンズリーヴス」を演奏する。 ・「グリーンズリーヴス」と「パッヘルベルのカノン」の旋律とテクスチャを聴き比べ、聴き取ったことや感じ取ったことを自由に話し合う。 ○リコーダー・アンサンブルによる器楽表現の特徴について理解する。 ・ソプラノリコーダーのみのアンサンブルや音域の異なるリコーダーでのアンサンブルなど様々な表現形態を試しながら、「パッヘルベルのカノン」を演奏する。 ・それぞれのアンサンブルでの演奏を比較して気付いたことをグループで自由に話し合いながら、器楽表現に対する自己のイメージをもって「パッヘルベルのカノン」を演奏する。 ・リコーダー・アンサンブルによる器楽表現の特徴について理解したことをワークシートに記入する。
	2			○「パッヘルベルのカノン」に対する自己のイメージをもって器楽表現を創意工夫する。 ・グループで「パッヘルベルのカノン」を演奏し、コンピュータに記録する。 ・コンピュータに記録した演奏を聴きながら、リコーダー・アンサンブルによる器楽表現の特徴を生かして旋律とテクスチャを工夫し、自己のイメージをもって器楽表現をするためには、「パッヘルベルのカノン」をどのように演奏したらよいかを、演奏して試しながらグループで話し合い、必要に応じてワークシートに記入する。 ・コンピュータに記録した演奏やグループで話し合ったことを参考に、フレーズのつなげ方などを様々に試したり、互いの音色や響きを近づけて演奏したりしながら、「パッヘルベルのカノン」を演奏する。 ・「パッヘルベルのカノン」をどのように器楽表現するかについての表現意図をワークシートに記入し、再度、演奏する。
3	○創意工夫を生かした器楽表現で演奏するために必要な技能を身に付け、「パッヘルベルのカノン」の演奏を楽しむ。 ・「パッヘルベルのカノン」を演奏し、グループごとに前時までの学習を振り返る。 ・グループごとに演奏し、3つのヴァイオリンと通奏低音で演奏された「パッヘルベルのカノン」の演奏を参考にしながら、「リコーダー・アンサンブルのもつよさや持ち味を生かして旋律やテクスチャを工夫し、自己のイメージをもって器楽表現ができているか」という観点で、互いの演奏を聴き合い、気付きや感想を伝えたり、グループの演奏を振り返ったりする。 ○題材の振り返りをする。 ・振り返ったことについて全体で意見交換し、本題材を学習したことの価値を共有する。 ・全体で、「パッヘルベルのカノン」を演奏する。			

高等学校芸術科（音楽）採点基準

4枚のうち4

【注意】問題によっては、部分点を可とする。

問題番号		正 答 〔例〕	採 点 上 の 注 意	配 点	
[3]		例えば、混声合唱とオーケストラの編成で全楽章を通して聴き、歌詞の内容がどのように音楽で表現されているかを感じ取る学習を行う。その中で、カンタータ「土の歌」の最終楽章である「大地讃頌」の曲想が、戦争によって豊かな大地が破壊される悲しみ、死への恐怖や、陸軍の宣伝班員として戦意高揚の詩を発表し続けなければならなかった作詞者の葛藤、平和への願いや祈りなどが込められているという文化的・歴史的背景によって生み出されていることを捉えさせ、曲に対する自己のイメージを膨らませたり他者のイメージ共感したりして、音色や強弱の働かせ方を試行錯誤しながら、表したい歌唱表現について考え、どのように歌うかについて表現意図をもたせる。	問いを正しく捉えていれば、内容は異なっていてよい。	1 4	
[4]	1	自らとしているのは、卒業後も、生徒が主体的に音楽に関わり、音楽のよさや美しさを味わっていくことのできる資質・能力を育成できるようにすることを目指しているから。	内容を正しく捉えていれば、表現は異なっていてよい。	各 5 × 3	1 5
	2	音楽表現の共通性や固有性とは、様々な音楽が、どのようにつくられているか、どのように演奏されているかについて、複数の音楽に共通して見られる表現上の特徴、あるいは、ある音楽だけに見られる表現上の特徴などのこと。			
	3	例えば、同一曲を異なる奏者の演奏で聴かせたり、古典派とロマン派のように、異なる時代の曲を聴かせたりするなど、比較して聴く活動を取り入れることが有効であると考えられる。			

1

6

著作権保護の観点により、掲載いたしません。